

はづ

No.23

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

平成4年3月25日



昭和初期の東海道筋風景です。

さて、この写真は現在のどの辺りでしょうか？（答は4ページ）

めざましく発展した羽津の町。いちじるしく
変貌した軒並み。時の流れを感じさせます。

この町に住む私たち一人ひとりが住みよい地域社会づくり
のため、お互いに協力しようではありませんか。



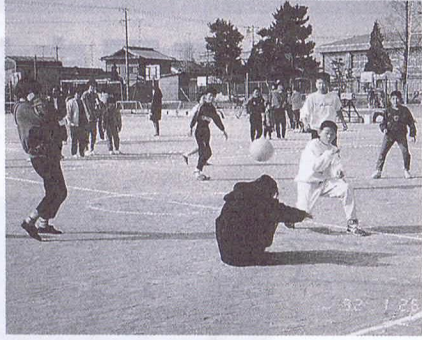
ちよつといい話
大宮町1~16
水谷 一郎さん

羽津城跡で有名な城山公園の近くにお住まいの水谷さんは、明治四十四年生まれ、八十歳。生来、草木いじりが好きで、自宅においても沢山の盆栽の手入れや、菊づくりに精を出して居られます。

また、暇をみては近くの城山公園の落葉の清掃や除草のほか、樹木の剪定など公園の美化維持管理に奉仕されており、多くの皆さんから感謝の声があがっています。

水谷さんは現在、花の病院として知られる生桑町の塩井産婦人科の嘱託として、同病院の温室で栽培されているゴムの木をはじめ、数百種にのぼる樹木から草花までの管理一切を任されて、多くの見学者の眼を楽しませて居り、ますます元気で植物との付き合いを続けていきたいとのこと。

親子で汗を流した新ルールのドッチボール!!



竹細工
おばあちゃん
どうやって作るの?



出初式



三月七日、八日と二日間にわたって開催された羽津地区文化祭。ところ狭しと並べられたみごとな作品。又、芸能発表では充分楽しんでいただけたでしょうか。



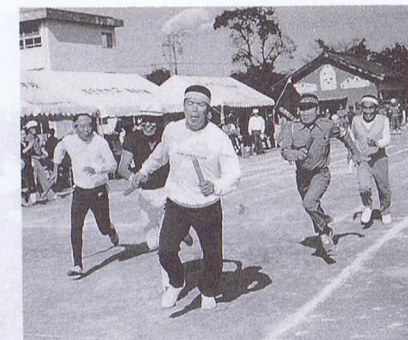
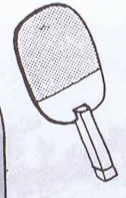
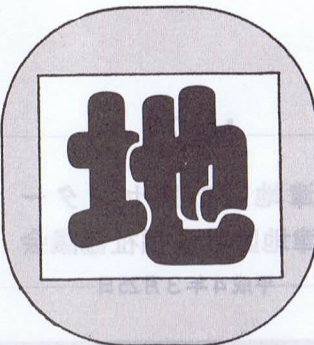
羽津北小学校創立十周年
来る六月四日、羽津北小学校は創立十周年を迎えます。同校では、PTAが中心となり、いろいろな記念行事を計画しています。



ソフトバレーの案内

「暮らしの中にスポーツを」の合言葉で、羽津地区体育振興協議会では、地区住民の親睦と体力の向上を目的に、各種行事を行っています。ソフトボール、ママさんバレー、バドミントン、インディアカ、グラウンドゴルフ等。

又、毎週木曜日夜七時より、羽津中学校体育館でレクリエーションスポーツを行っています。卓球、



インディアカ、そして新しいスポーツ「ソフトバレー」です。ソフトバレーは、ビーチボールに似てやわらかくて大きいボールで行います。4人制でバドミントンコートで6人制のルールでみんなが楽しめるスポーツです。皆さんも一度汗を流しに来て下さい。

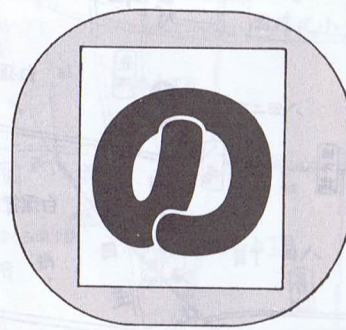


運動会に参加して

さわやかな秋晴れの下、地区の大運動会が開催されました。たくさんある競技の中、町別対抗綱引きに参加し、翌日の筋肉痛も考えず一所懸命引っ張りました。なんと見事二位ノ綱引きぐらいと思つたのがまちがい、今でも手のひらにはマメが残っています。

係員の一言

出足の遅い競技には声をかけ、参加者を集めたり、種目によっては、多く集まった人員整理と大忙しの一日。整理券のお陰で、大したトラブルもなく進行できました。招集係の皆様、ご苦労さま。



私の昭和 南洋と私
~健康法は自転車~
霞ヶ浦町 奥村 隆



私は元来、一人旅が好きです。昭和八年、学生時代に台湾協会より派遣され、台湾旅行をしました。その目的は、台湾が日本の領土になって三十年になるが、日本に対する台湾人の正直な気持ちを調査してほしい、とのことでした。各地を廻りましたが、特に高砂族調査のため、三日間、大理石のタロコ溪谷を踏破した思い出は、一生忘れることができません。

昭和十年、海軍省の援助を受けて、マレー半島、シヤム(タイ)に行きました。その時、〇〇中佐にシンゴラに寄るように言われましたが、まさかこの地が五年後、日本軍の上陸地点になるとは、思いもありませんでした。

昭和十二年、大学を卒業、南洋拓殖会社へ入社し、同十三年バラオ勤務、十六年に帰国して

結婚しました。十七年に「トラック」、「ボナベ」へ出張、十八年に「ニューギニア」勤務となりました。

昭和二十年終戦、二十一年六月に内地へ引き揚げましたが、会社は解散となり、東京と名古屋の家も空襲で焼けて無くなり、現在の場所に住みつくことになりました。

終戦当時、食料難のため買い出しが必要で、そのため自転車の練習をして、保々あたりまで出かけたことを思い出します。

その後、「県火災共済」を設立して、殆ど毎日の自転車生活に入り、今日に及んでいます。おかげで、現在七十九歳になりますが、健康に恵まれ、自治会長をはじめ、神社総代会長、四日市経済会幹事長など、いささかでもご奉仕できますのも、自転車のお陰であると感謝しています。

おわりに、我が家の処世訓として、真の詩集より引用して、ペンを置きます。

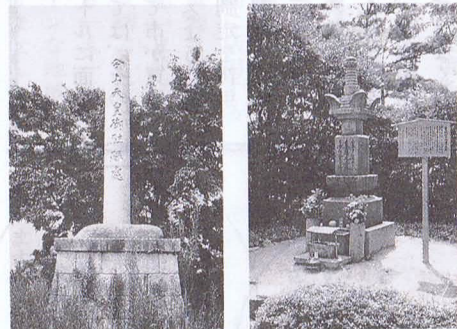
〇〇〇

ひとつのおせわにならぬよう、ひとつのおせわをするように、そして、むくいを求めぬよう。



羽津中学校屋上から見た羽津地区全景 (H4.2 写す)

見直そう!! 羽津の史跡や珍しい建物など…… 一度あなたの眼で確かめて見ませんか!!



⑧ 垂坂山

春は桜、秋は紅葉、公園化がすすむ散策場所。中世古戦場跡もある。



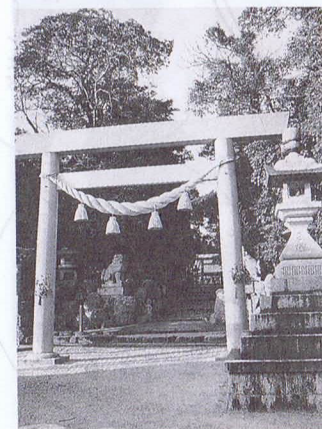
⑦ 長谷神社

はせのじんじや
朝明郡延喜式内社24社の一社。はづの名の起り、ハセツカベ氏の跡といわれる。



⑥ 森玄侏本宅

羽津山の「鎮驚丸」として有名な北勢きつての旧家森家。



④ 志氏神社

境内には、北勢地方屈指の前方後円墳がある。



⑤ 正法寺

羽津城主赤堀家の菩提寺で、本尊の地蔵菩薩坐像は、初代盛宗の念持仏といわれ県指定文化財。

金場の地蔵

昭和5年頃の8月の地蔵盆風景。



昭和31年頃の風景



① 八幡神社跡と地藏堂

明治42年志氏神社に合祀されるまで広大な森であった。地藏堂は、常夜燈付近に祀られたものが現在地に移築。



② 光明寺

弘法大師によって開基せられたが16世紀半ば、現在地に浄土真宗寺院として移築された。



③ 羽津城跡

南北朝以来の北勢48家の対立による中世土豪羽津赤堀家の居城跡。

「明日の羽津を考える」
平成三年度、市長を囲む地区交流懇談会が、十一月十五日開催されました。

はじめ、関係部課長、地区からは各町自治会長、各団体役員など、四十名が出席して、住みよい地域社会づくりのための意見交換がありました。

平成三年度

市長を囲む地区交流懇談会

於 羽津地区市民センター

はじめに、加藤市長から市政全般について概要説明があり、続いて地区が抱える問題について、

- (1)「住みよい町づくりのために」
地区内には狭隘道路が多く、町の発展を阻害している。
- (2)「通学路の安全確保と整備充実について」
- (3)「クリーン羽津をめざして」
ごみ処理問題を中心に、クリーンな町づくりのための取組み。

また、各地域の実践的な取組みの具体例を冊子化して、市民に紹介する段取りとなっている。

の学校で実施している。防犯灯の設置については、補助金制度もあり、横断歩道も含めて関係部課と協議を進めたい。

(1)について

狭隘道路と四メートルに面した角地の土地については、その一部を道路敷地として市が買取り、奥地の開発ができるよう、後用地整備要綱」の制定を新年度に施行できるよう調整中。みなし道路とは、昭和二十五年の建築基準法施行の際の狭隘道路沿いに建ち並んでいた建築物を救済する処置であり、狭隘道路イコールみなし道路ではなく、行政は法律基準に基づきしかたない。

(2)について

生徒への安全指導は、それぞ

優秀作品

ごみルール みんなでまもる 羽津のまち

羽津小五年 磯野 充典

クリーンな心で

羽津小六年 正岡 裕子

学校へ行く時、又遊んでいる時など道路や空地に空缶などのゴミが捨てられているのを見ます。だれが捨てたのかわかりませんが、その人がちよつと注意をして近くの箱に捨てていたら、きつとゴミはなかったと思います。落ちてはいる空缶などを見たら、すぐにひろい、近くのゴミ箱に捨てるような「クリーンな心」を持つことだと思います。先日お父さんと買い物に行つた

時です。ジュースの空缶が泥に落ちて、歩道に転がっていました。お父さんは、「その缶をひろって捨てなさい。」と、私に言いました。人が多くてはつかしいのと、空缶がよごれていたの、いやだなアと思つていたところ……すぐにお父さんがひろってゴミ箱に捨てました。それを見て私は、人が多くてはつかしいかなアと思いましたが、空缶はだれかに拾われなければいつまでも転がったままです。私もこれからは、空缶を見つけたら積極的にゴミ箱に捨てるようにしたいと思つています。

わたしの家の前の道は、はばが広い道路です。道ばたには、よく空かんやたばこのすいがらなどがすてられています。お母さんは、気が付くとひろつて家のゴミといっしょにだしているそうです。お母さんがシンガポールへ旅行にいったとき、町がきれいなのでおどろいたそうです。どうしてかというとき、シンガポールでは、道ばたにゴミをすてると、ばつ金とられるからです。ほうりつてきめなくても、みんなが道に空かんやたばこのすいがらなどのゴミをすてないよう心がければ、きれいな町にできるのと思つきました。

きれいな町づくり

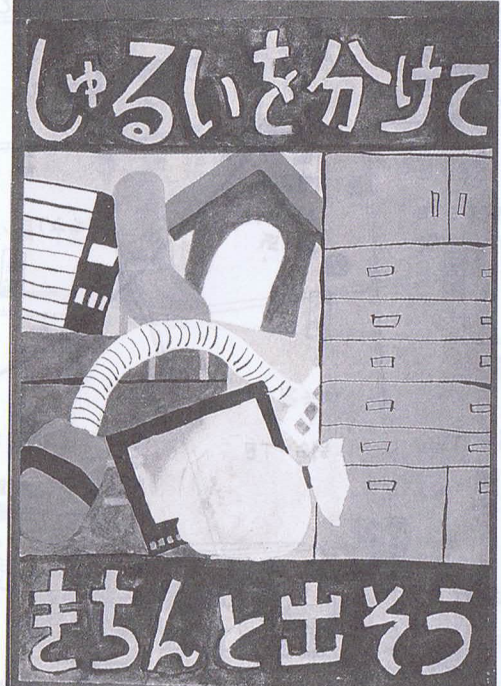
羽津北小4年 荒木 晶子

私は、北部せいそう工場へ見学に行つて、ごみの多さにもおどろきました。一けんが出すごみはごみぶくろ二、三ぶくろなのに四日市の人々が全員出して、すごく多いと思つきました。ふつうパツと出すごみでも、しよりするのは大変だからできるだけお店の人達でもパツに入れて売ればごみの量がへると思つた。それに生ごみは畑にうめたりすればひりよになるし、ごみでもつかいみちはたくさんあると思つきました。

クリーンな心

羽津北小四年 前田 真希

がごみを拾つてすてても、みんながそうしないといけないと思ふ。紙とかでもまたさい生すれば使えるし、布でもまた使えばあると思ふ。だからできるだけさい生したりすればいい。私達が大きくなつたら、日本はどういうふうになつてくるかな。



小学生の部 最優秀 羽津小6年 大森 才子

「まもろう のこそう クリーンはづ」 キャンペーン 標語・ポスター入選作品

羽津地区地域社会づくり推進委員会

- 「ごみ収集に感謝の気持ち忘れずに」
羽津中一丁目 須藤 弘子
- 「ごみ出しはきまりを守ってきもちよく」
羽津小3 石川 理英
- 「クリーンな心で自分から」
八田二丁目 栗田 米三
- 「守りましょうあなたもわたしも」
ごみ出しルール
羽津小3 笠井 佑美
- 「ごみ出さず待て、ごみ出す時のむせきにん そんなあなたも町よごす」
羽津小3 はつとりあい
- 「ごみ出さずきれいな町」
羽津小5 伊藤あさ美
- 「ごみ出しのルールをまもってクリーンなはづ」
羽津小3 大泉 有希
- 「今捨てた空カン一つがごみのもと」
羽津北小5 上原 基喜
羽津中1 上原英梨子



中学生の部 最優秀 羽津中1年 伊達 倫子



羽津の東海道(その二)

羽津郷土史研究会

矢守 勝一

言い伝えによると、中世の東海道は文明二年(一四七〇)赤堀家の浜田築城の頃まで、鶴、別名、西阿倉川、野田、中河原の線で羽津城の背後を通っていたがその頃羽津、浜田両赤堀城主が連携して、城の東に移したというが、確かなことは文献がなく分らない。



光明寺門前から南進して最初の横丁までの小字を「中村」と呼び、その北鳥居までを中北條、さらに先を北條と言ひ、南を中南條、南條と呼んだ。中村は城下町の中心ではなかったかと思われる。今の姿に整備されたのは、関ヶ原の役の後、慶長六年(一六〇一)江戸の徳川政権の命令による。大阪方や西国大名に備えての戦術的配慮の色が濃い。道路の両側に松並木を植えさせ暑い日、旅人のために日陰を作ると言うは名目で、実はいざ

の時、切り倒して障害物にするという魂胆が隠されていた。又、森源八酒店の前は筋違いになっている。茂福地内、富田から蒔田にかけても見られる。西軍の直進を阻む目的であった。松並木は戦前、八田町や金場町には沢山残っていたが、今は八田町山田歯科医院の南に数本残っているのみである。

往時の羽津住民の気風は質実で、近くの沿道の村の様に、茶店を営んで焼蛤の匂いや永餅のこんがりした香りに、旅人の足を止めさす様な商売気がなく、農業や桶屋、籠屋などの手工業で生活していた。ささやかな例外は百姓の傍ら、素朴な土鈴を焼いて旅人の土産に売っていた鈴屋(森源八家の屋号、造り酒屋になったのは明治以降)と小鈴屋(現山本昇太郎家)ぐ

らいであった。表紙の写真は昭和初年金場から見た筋違いのところ、現在の国道一号線は松が切られ直進している。松の向こうの小さい橋が「坂の戸橋」で道路西側の用水が下を流れている。写真中央の家が小鈴屋。本頁の写真は同じ場所の現在の姿である。

ダンスサークル

背筋を伸ばして、リズムカルに、心地よい汗ばみのひととき…

若さを保つ健康法に、週一度の楽しい時間を、あなたもごいっしょに踊りませんか。

あじさいダンスクラブ	木曜日	13:00~15:00
社交ダンスみどり会	火曜日	13:00~16:00
(婦人会)社交ダンス	土曜日	19:00~21:00



羽津のサークル紹介



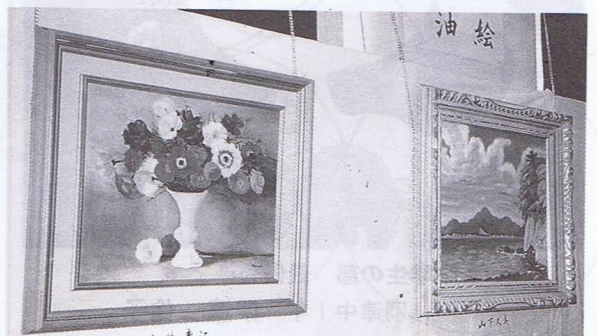
水墨画

濃淡の墨から描かれた、鯉や青竹が活き活きと、その色彩までも浮かびあがり、まるでそこから飛び出して来そうな…。そんな水墨画を描きたいと、がんばっています。興味のある方、是非のぞいてみて下さい。

第二、四金曜日 夜七時から九時まで、気楽においで下さい。

油絵

絵は自由に自分の世界が広がられる楽しさがあります。絵の具をぬり重ねて、わくわくするような色彩に出あう！あなたも油絵をはじめませんか。第一、第三土曜日、午後一時から四時まで……お立ち寄り下さい。



編集後記

春は、卒業・入学・就職と何かとあわただしい季節ですが、地区広報二十三号ご覧いただけましたでしょうか。

かわりゆく羽津のまち、表紙の写真はおわかりになりましたか。車社会の現在、知らず／＼見過ごしてしまう街角。たまには、地元の散策をしてみてもいいかがでしょうか。

編集委員

- 山本 鉄男・天野 平一
- 大和みさ枝・森 博司
- 井上キヨ子・小井 正史
- 久楽 英子・沢木 愛弓
- 下谷真由美

羽津地区市民センター